

英生

奈良県生協連

2001年7月

NO.41

万葉のいぶきを求めて—(6)



率川のほとり

羽根かづら 今する妹をうら若み いざ率川の 音の清けさ

作者不詳

猿沢の池の南側を小さな小川が流れている。その中程に碑が建っていて率川と読める。これが万葉集に詠まれた率川であることを知る人は少ない。この碑のすぐ上が橋になって、両側に灯籠が立っている。ここは古代上ツ道の起点、後世の伊勢街道の宿場町として栄えた。そのすぐ先から川は暗渠になって市街地からは姿を消す。この川筋に率川神社が鎮座し、毎年6月17日には羽根かづらで髪を飾った乙女が山百合の花を捧げて舞い、「ゆり祭り」として親しまれる「三枝祭」が行われる。万葉の頃。この辺りは山百合の花が咲き乱れていたのだろうか。

鳥の羽根や菖蒲で作った「羽根かづら」の髪飾りをした乙女が率川のほとりに佇んでいる。「いざ」と誘いたくなるような美しさである。それにしても何と率川の水音の爽やかなことよ。

第12期 奈良県生協連通常総会

6月2日(土)共済会館やまにおいて、第12期奈良県生協連通常総会を開催しました。

繁田会長、来賓の方々のあいさつに続き、議長に選出された湊初恵代議員により議事が進行され、代議員定数21名中、実出席17名、委任出席3名で総会が成立し、提案された全議案が承認されました。また、人事異動により三役員が退任されることになり、新役員三氏が推薦され信任されました。



繁田会長のあいさつでは、この一年を振り返ってみると、食品の安全行政充実強化の取り組みでは、県連、ならコープが中心になり、農協や地婦連など多くの友誼団体の協力のおかげもあって、27万筆もの署名を集めることができました。そして、10名の紹介議員にもご協力いただき、県議会への請願が趣旨採択されました。また、我々県下7生協が共に、厳しい状況下の中でも各々の状況に応じて、着実に前進発展してきているという、うれしい報告がありました。

総会後の交流会では、各生協の個性豊かな自己紹介の後、若い学生委員で活気いっぱいの会場では、幅広い分野での情報交換や意見交換もあり、積極的な交流のひとつとなりました。

議案

- 第1号議案 2000年度活動報告、決算報告・剰余金処分案及び監査報告承認の件
- 第2号議案 2001年度活動方針および予算案決定の件
- 第3号議案 2001年度借入金最高限度額決定の件
- 第4号議案 補充役員選出の件
- 第5号議案 規約の一部改正の件
- 第6号議案 議案決議効力発生の件
- 総会アピール採択の件

ご来賓の皆さま

- | | |
|------------------|--------|
| 奈良県生活環境部県民生活課課長 | 中田 稔氏 |
| 奈良県生活環境部県民生活課係長 | 大前 利隆氏 |
| 奈良YMCA所長 | 藤井 辰男氏 |
| 日本生活協同組合関西地連事務局長 | 川村 恵彦氏 |
- (順不同)



あいさついただいた方々

退任された理事

堀田 新五郎：奈良県立大学生生活協同組合
松尾 賢一：奈良工業高等専門学校生活協同組合
村井 勇二：奈良教育大学生生活協同組合
お世話になり、ありがとうございました。
今後のご活躍を期待いたします。



退任理事への花束贈呈

新理事

鍵本 有理：奈良工業高等専門学校生活協同組合
津田 康英：奈良県立大学生生活協同組合
宮崎 浩三：奈良教育大学生生活協同組合
よろしくお願ひいたします。



宮崎理事 津田理事

全国から祝電やメッセージをいただきました

祝電

奈良県農業協同組合中央会
奈良県農業協同組合
奈良県森林組合連合会

メッセージ

36県連・生協・団体より
*ありがとうございました。

もくじ

第12期県連通常総会	2	環境	9	広がる協同・くらしの輪	12
平和	6	食と健康	10	つながる連帯・友好の輪	14
福祉	8	総会特集	11		

各生協からの代議員報告

ならコープ 鳥野純子代議員

2000年度の主な活動として、商品活動・開発、ブロック委員会、地域委員会を積極的に進めた。食の安全署名では大きな成果をあげた。その他、福祉、環境、平和、子育て、生活文化、消費者課題でも、組合員のニーズに基づき、多様な活動を進めた。

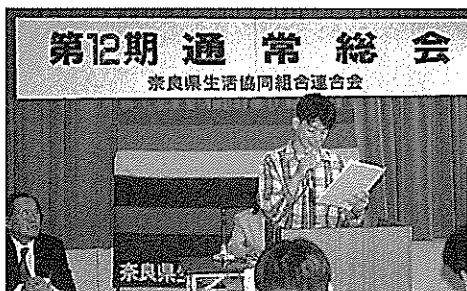


奈良教育大学生協 大屋洋介代議員

昨年度の学生委員会活動では、夏祭り、食生活相談会を行い、新入生に対しては受験宿泊相談会、中古品リサイクルフェア、料理講習会、サクラハイク等を行った。これらの成果として、今年度は6名の新入生が委員に加わった。

奈良高専生協 林伸幸代議員

昨年度の学生委員会活動では、商品活動に力を入れ、書籍の仕入れツアーやパンの試食会等をした。活発な活動の成果として累積赤字が解消した。今後も学生委員活動に協力して行きたい。



奈良県立大学生協 滝口拓男代議員

昨年度は、食生活相談会、ベジサンドの試食会や販売等をした。店長が配属となり、委員の意見が円滑に取り入れられるようになった。食の安全署名にも取り組み、食品添加物の勉強会もできてよかった。

奈良女子大学生協 瀬尾菜奈枝代議員

先日治道トマトの見学に行き今までに体験出来ないことができて良かった。現在カフェでは学生がケーキを焼いて提供している。女子大生協から始まったベジサンドが県立大学にも広まった。



奈良労済生協 上田圭治代議員

今年5月に創立40周年を迎える事が出来た。これを期に県下3地区に「地区推進会」を立ち上げた。ホームヘルパーの通信教育も好評。秋には介護特約付き共済等の事業展開を行う予定。今後も生協らしい制度作りをめざしたい。

総会アピール

第10期 通常総会

奈良県生活協同組合連合会



人間らしい暮らしの創造と持続可能な社会の実現に向けて 生協の事業と運動を強めましょう

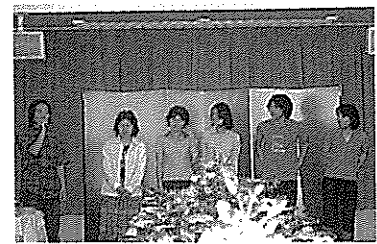
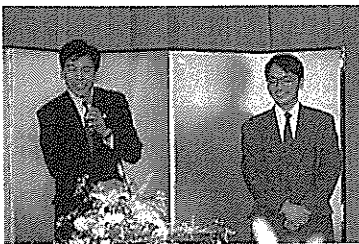
21世紀の初めの年となりましたが、私たちの暮らしは益々混迷を深めています。グローバル化する市場経済の下、競争激化による企業の業績悪化や倒産による所得の減少や失業が増えています。

また、国や地方の660兆円に及ぶ財政赤字は国際的な金融不安を呼び、国民負担の増加を視野にいれた財政再建が検討され、私たちの暮らしの先行きは益々不透明になっています。

一方、私たちは20世紀後半の高度経済成長期に豊かさを追い求めてくる中で、多様な価値観を生み出した反面、環境、福祉や教育など社会の中に歪みが生まれました。これらを是正するためには、協同の力によって新たな価値観に基づく地域社会づくりを進めることが、今、世界的に求められています。

私たち生協は、21世紀めざすべき課題として「自立した市民の協同の力で人間らしい暮らしの創造と持続可能な社会の実現」を掲げました。これら理念実現に向けて、私たちはこの奈良県下で生協の事業と運動を強め、全国の生協や他団体との連帯をさらにいっそう深めて行くため、次の課題の取り組みを進めましょう。

- 1、暮らしの保障や食生活への不安を取り除くために、組合員の暮らしに貢献する事業を推進しましょう。
- 1、よりよい環境を次世代に引き継ぎ、だれもが安心して暮らせる平和な福祉社会をめざして「人と人のつながり」を大切に、協同の精神を広げましょう。
- 1、未来をになう子どもや学生たちが、自ら希望を育てることができるよう協同の理念を学び合い実践しましょう。
- 1、組合員の願いに応じて健全経営に努め、社会的な役割を果たしましょう。
- 1、食品の安全を確保するために、社会的な仕組みづくりを行政や他団体と共に進めましょう。



交流会



核兵器のない世界へ～美しい地球を未来に残しましょう

「核兵器をなくしたい」「戦争はやめよう」などを合い言葉に、平和への思いを「歩く」ことによって表現し沿道へアピールしていく平和行進に、ならコープでは1991年から「通し行進者」を派遣し、市民平和行進の取り組みをすすめてきました。今年は県内の5日間に集中し、総勢18人の職員がならコープ行進者として組合員さんと一緒に行進しました。

「市民平和行進2001出発のつどい」に参加して

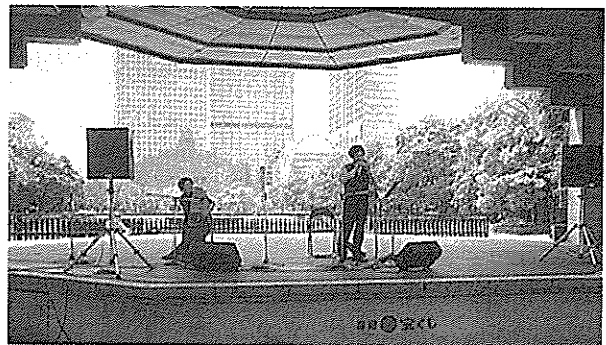
ならコープ 平和担当理事 阪東昌子

去る5月7日、東京日比谷公園小音楽堂(屋外)にて行われた「市民平和行進2001出発のつどい」は、黒坂黒太郎氏のコカリナ(木のオカリナ)コンサートにより始まった。

さわやかな5月の風の中、鳩のとびかう新緑の木陰で聞く被爆樹で作られたコカリナの音色は56年の時を超え、私達に何かを言わんとしているように思え、美しく、もの悲しく、それでいて青く澄みきった空をつきぬけていく力強ささえ感じた。小さな木の楽器1つがこんなに多くの人に感動を与えることができるのだ。

今年も市民平和行進が始まった。私達一人ひとりの力は小さいが、全国の仲間が同じ思いで東京から広島までつないでいくエネルギーは計りしれない。

さあ、私達もできることから始めよう！



ならコープ組合員平和行進者からのメッセージ

◇ どんなことに対して、私たち一人ひとりが『私ひとりなんか』ではなく『たとえ私ひとりだけでも』の思いで踏み出す一歩が結合して大きな力となることを信じ、あきらめないうちの目の前の小さなことからでいい、自分出来るだけのことをしていきたい。そのひとつが、この平和行進でもあると思います。(N.Y)

◇ 平和行進は「平和」を考える機会として、毎年県内行進に参加しています。1200kmのうちの短い距離ですが、行進者の方と一緒に歩こうと思っています。(Y.N)

2001 6月26日(火)～30日(土)

1日目 6月26日(火) 般若寺 集合12:30

10:30京都府木津町公民館前出発～11:30奈良坂で休憩～12:30奈良市の般若寺で引継ぎ集会・出発集会～13:30般若寺を出発～14:15県庁で休憩14:30～大宮通りを行進～15:30奈良市役所で休憩15:45～16:00ならコープ本部到着、交流会17:00終了
(般若寺出発までに昼食は各自でお済ませください)

2日目 6月27日(水) 大和郡山市役所 集合10:00

大和郡山市役所10:15～筒井街道を行進～青葉台住宅を行進～12:00コープいまご到着つどい13:00終了

いまごのつどい
12:10～「行進団道中記」東京から歩いてきた行進団の人達の話を聞き交流しよう
13:00～昼食をとりながらの交流タイム

※あをがき6月号、運営通信6月号に「あすなら苑まで行進」と掲載いたしましたが、上記の内容に変更となりました。

3日目 6月28日(木) 橿原市役所 集合10:00

橿原市役所10:15～10:30近鉄八木駅前を行進～11:00コープみみなし到着後つどい12:00終了

みみなしのつどい
11:10～「被爆証書」被爆者の方に、体験を語っていただきます
12:00～昼食をとりながらの交流タイム

※あをがき6月号に「政務御前駅から行進」、運営通信6月号に「つどい時間13:00～14:00」と掲載いたしましたが、上記の内容に変更となりました。

4日目 6月29日(金) 王寺町役場 集合9:30

王寺町役場9:45～10:30三郷町コミュニティセンターで休憩10:45～三壺2丁目・夕陽ヶ丘・菟田川3丁目を行進～12:00Dコープたつたがわ到着後つどい13:00終了

たつたがわのつどい
12:10～クイズ、ミニコンサート
13:00～昼食をとりながらの交流タイム

※あをがき6月号に「法隆寺駅から行進」、運営通信6月号に「つどい時間13:20～15:00」と掲載いたしましたが、上記の内容に変更となりました。

5日目 6月30日(土) 平和のつどいinたかた

10:00コープたかたで平和のつどい～11:35バス移動開始～12:25大阪柏原市役所前で下車、約400m行進～12:40大阪府への引継ぎ集会～13:30終了後行進者を見送りバス移動～14:30コープたかた帰着、解散

つどいスケジュール

11:11	11:20	11:50	12:30	12:40	13:00	13:30	14:00	14:30
開会あいさつ	平和の会ハフオーマンス	職員のみらいライブ	組合員コーラス	メッセージ交換など	終了あいさつ			



東京を出発→広島へ

環境

アースデー2007 in なら

4月22日、奈良県浄化センターにおいて開催されました。天候にも恵まれ過去最高の1400人、ガールスカウトをはじめ各種団体の参加が広がり、17団体、8行政の協力を得ました。大和川クリーン作戦の他、ウォークラリー、自然観察会、いらないおもちゃ交換会等、多彩で工夫された各種企画で交流を深めました。今年も奈良高専生協の学生委員が参加しました。



レイチェルカーソンの贈りもの「センス・オブ・ワンダー」上映会

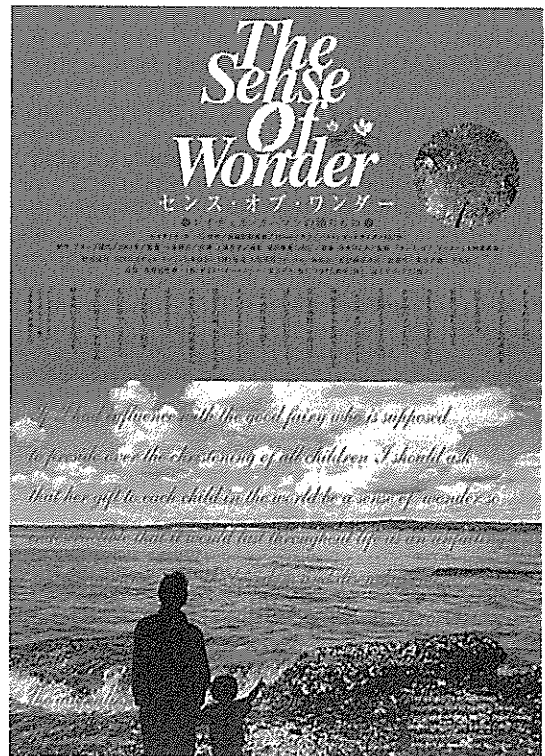
地球環境問題がますます複雑、深刻化している今日、1962年に「沈黙の春」を著し、化学物質が環境や生物に世代にわたって与える影響に、いち早く警鐘を鳴らしたレイチェル・カーソンの存在が改めて見直されています。彼女の最後のメッセージとなった「センス・オブ・ワンダー」を映画化し、上映を広げることで、自然といかに向き合うか、新しい世紀を担う子どもたちをいかに育てるかを考える場を、全国に生み出したいという思いから、全国各地でNGO・NPO団体主催の自主上映が企画され、県内でも環境ボランティア団体有志による「センスオブワンダーなら」上映委員会主催で、下記要項で上映されることになりました。

8月19日(日)

- ・時間：講演会／13:30～ 上映会／14:30～
交流会／17:00～
- ・場所：奈良県文化会館
- ・申込み：T/F 0742-23-6750 (中嶋)
T/F 0743-73-6211 (有村)
- ・料金：(前売) 一般1200円・学生800円

○次回上映会は 10月13日(土)

社会福祉総合センター(橿原市)



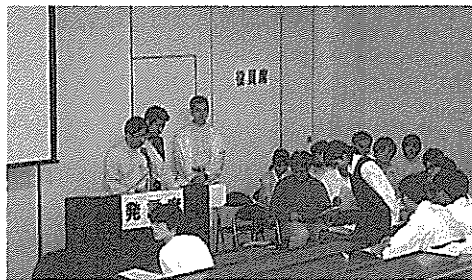
「センス・オブ・ワンダー」

会員生協通常総(代)会

オブザーバー参加して

奈良工業高等専門学校生協

設立から5年経過し累積赤字が解消されました。2001年度は「組合員の組合員による組合員のための生協」にして本格的に生まれ変わるチャンスOfYearとしたいと学生を中心に燃えていました。京兼純理事長(再)、鍵本有理専務理事(新)をはじめ新しい役員体制でスタートします。



奈良教育大学生協

生協法人格取得25周年記念行事が、これまで生協を支えた人たちが集い盛大に開催されました。そして、教員養成系大学の再編や独立法人化など大学の変化に今後どのように対応して行くか、生協の役割発揮が強く求められています。生協としての決意がひしひしと伝わる総会でした。岩本廣美理事長(再)、宮崎浩三専務理事(新)をはじめ新しい役員体制でスタートします。

奈良女子大学生協

学生委員が中心になって運営され、華やかな総会でした。学生生活を心より支援できる生協を組合員みんなの力で作りあげていくことをめざし、それぞれの取り組み方向が確認されました。監査報告も9項目にわたって丁寧に指摘され、生協活動に自立して関わる中で、学生組合員の成長を願う監査視点が印象に残りました。



奈良県立大学生協

夜間大学という時間的な制約の中、先生方のご協力で5月24日多くの学生の参加で総会が開催されました。栗村俊夫理事長(再)、津田康英専務理事(新)をはじめ新しい役員体制でスタートします。

大阪樟蔭女子大学生協

6月28日開催

奈良労済生協

7月30日開催予定

ならコープ

厳しい経営状況の中で、班運営費の凍結など2001年度予算において経常剰余マイナス予算という組合員にとってきびしい提案であったにも関わらず、総代の整然とした行動が印象的でした。また、組合員や職員にならコープの現状をありのままに公開することで、組合員と職員が一体となってこの難局を乗り越えていくという執行役員の決意を感じた総会でした。逸見啓理事長(再)、仲宗根迪子副理事長(再)、瀧川潔副理事長(新)、森宏之専務理事(新)をはじめ新しい役員体制でスタートします。



広がる協同・くらしの輪

消費者団体交流プラザ

3月29日、共済会館やまとにおいて11団体16名の参加で開催されました。近畿農政局から松井公子氏が「食生活をめぐる最近の情勢について」、森岡昭則氏が「容器包装リサイクル法について」講演が行われ、質疑、意見交換を行いました。(県 県民生活課主催)



奈良県衛生研究所との懇談

5月11日、今井所長はじめ衛生研究所から5名、生協から11名で開催しました。生協から「奈良県の食品安全行政充実強化を求める請願」が趣旨採択されたことを報告するとともに、衛生研究所の研究実態や今後の体制強化について意見交換を行いました。

レイチェルカーソン総会

5月14日、大津市民会館において開催されました。2000年度事業報告・決算承認、2001年度事業計画・予算承認、役員改選の後、第6回読書感想文コンクール結果発表・表彰が行われました。総会終了後「センス・オブ・ワンダー」の試写会が行われました。



ひまわり号総会

4月21日、教育会館において開催されました。2000年度活動報告・決算報告、2001年度方針・予算案、実行委員会体制が承認されました。実行委員長に相良博美弁護士、副実行委員長に当連合会の瀧川専務理事が選出されました。

第17回地連総会

4月24日、江坂東急インにおいて開催されました。2000年度まとめと2001年度事業計画案、関西地連運営委員・機関会議委員の選出、日生協地区選出役員立候補の推薦、関西地連運営規則・規程の改正について承認されました。

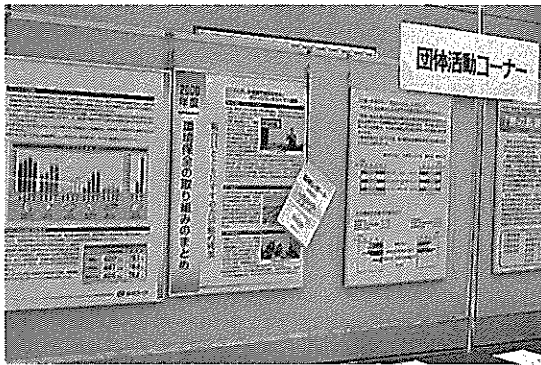
2001年度第1回「生協・行政協議会」

5月16日、共済会館やまとにおいて開催しました。新しく着任された県の職員のみなさんに認識を深めていただくために、会員生協の2001年度重点課題と、県連の2001年度方針について報告しました。

消費生活フォーラム・消費生活展

5月18日、橿原文化会館で消費生活フォーラム「新世紀をかしこく生きる－活用しよう消費者契約法－」をテーマに開催されました。また、25日～27日、近鉄生駒駅アントレ広場で消費生活展が開催され、ならコープでは2000年度環境活動の展示を行いました。

(奈良県・奈良県貯蓄広報委員会主催)



2001なら森を育てる祭典

6月3日、みつえ高原牧場において「はぐくもう豊かな森と豊かな郷土」をテーマに2001なら森を育てる祭典が開催されました。最初にもつえ高原牧場の開所式が行われ、知事等によるテープカットが行われました。

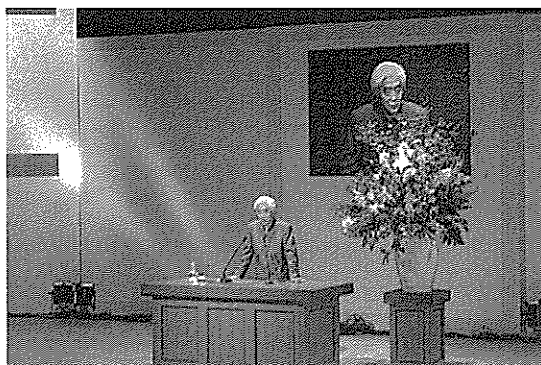
(奈良県2001なら森を育てる祭典

実行委員会主催)



日本生協連創立50周年記念神戸シンポジウム

5月30日、神戸朝日ホールにおいて開催されました。「人間の共有財産・こころ」をテーマに藤本義一氏が、「震災時における情報・メディアの役割」をテーマにラジオ関西、山口一史社長が、「心のきずなが生み出す力－協同を考える」をテーマにパネルディスカッションが行われました。



食文化研究会総会と発足5周年記念祝賀会

6月9日、奈良パークホテルにおいて開催されました。総会ではNPO法人化に向けて新たなスタートとなりました。記念祝賀会では各界からのご来賓と会員企業の食材のご協力で、盛大に開催されました。



つながる連帯・友好の輪

奈良女子大学生協

—奈良女の夏物語—

新生活も3ヶ月が過ぎ、環境の変化に身体も心もついていけなくなる時期です。

お店も学生さんにリラックスしてもらう企画や、食生活・安全・健康をテーマに進めています。総代会で出された意見をすぐ実現するために、職員一同頑張っています。(6月13日、食生活相談、自転車無料点検)

また、学生は七夕祭りの準備を、新入ウィンドースタッフと楽しく進めています。7月6日、午後4時45分から7時30分、テーマは「縁日」です。教職員、院生、学生が楽しく集う企画です。花小町がカフェメニュー開発。“エスプレッソ登場!デザートも出たよ”

先日の治道トマトや、北村さんの玉ねぎ抜きを体験できて、本当に良かったです。ありがとうございました。(専務理事 竹内)

奈良労済生協

—たすけあい創設40周年!!—

全労済奈良県本部(奈良労済)は、5月16日に40周年を迎えることができました。これもひとえに、奈良県生活協同組合連合会にご参集の関係各団体の皆様によるご支援・ご協力の賜物だと考えており、深く感謝申し上げます。

さて、創立40周年を期に、地域に根ざした共済生協づくりの組織活動として、県下3地区に「地区推進会」の設置が6月にたち上がりました。と同時に、事業推進と運動の発展に向けて記念行事も予定しております。

10月:記念祝賀会

12月:記念イベント

「親と子のふれあい
チャリティ劇場」



是非、この機会にイベントへの積極的なご参集をお願いいたします。

今後とも全労済運動と事業へのご理解、ご協力賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

(推進2課 上田)

奈良県立大学生協

—4月6日新入生の集いの感想—

新入生の入学前の不安な気持ちを、少しでも取り除いてあげられたら…という思いから我が校初の入学式前日に新歓パーティを企画した。班対抗のゲームや大学への疑問に答えるフリーセッションを行った。参加した新入生はみな仲良くなり、またパーティ後回収したアンケートにも「不安が解消でき良かった」など反響もよかった。新入生に喜んでもらえて、私たちもすごく嬉しかった。(2回生 林)

—生協の交流会に参加して—

先日、交流会がありました。僕は何となく友達に誘われて生協に入ったので、生協がどんな組織かもわかりませんでした。ただ、楽しそうなイメージはありましたが…。

その交流会で、僕は初めて他の大学の学生と知り合い、生協のことについて話し合いました。交流会には2回参加したのですが、1回目の地域センターが行った交流会では「パフェ」について話し合いました。僕らの食堂ではパフェは出せないらしいけれど、他の大学では実際パフェを出しているし、生徒から「オリジナルパフェ」を募集したりしていて、企画も生協がやってるってすごいなと思いました。他のグループのところでは機関誌や食堂のことについて討論していて、生協の仕事や可能性とかがわかりました。それで自分の大学でももっといろいろなことが出来るんじゃないかという希望も湧いてきました。2回目の京都工芸繊維大学夜間生との交流会では、「生協」、「夜間大学の良い点、悪い点」というテーマで話し合いました。僕は「生協」の方で話をしていたのですが、たくさんの意見が出ていました。その中で、工織大の人が「みんなが楽しめる生協」とか言っていて、一人で感心して聞いていました。確かに、自分一人の生協、大学じゃないし、もっとみんなのことを考えながらやっていかなければと思いました。まだ、大学に入って2ヶ月くらいしか経ってないけれど、この2回の交流会は何かとプラスになることも多かったし、いい経験でした。これからも生協を盛り上げていきたいです。

(1回生 森脇)

奈良教育大学生協

—よろしくお願ひします—

奈良教育大生協第26回総代会にて着任致しました宮崎浩三と申します。生協への入協は'95年4月、京都事業連合です。連合内では地域生協とのタイアップ事業を3年、それ以後物流、印刷関連の担当を致しました。生協入協前は、25年間(株)長崎屋で仕事をしていました。この点では大学卒業後生協に入協した方々とは少し考え方が異なるかもしれません。

さて、教育大生協としての課題は?と言うと、いろいろな面で課題が大きいと言えます。

まず '04年にせまった大学独立法人化にむけて生協がその存在を不可欠なものとするのか、生協としての歴史を持っていながらしっかりとした形が大学内で形成できてきたのか改めて真剣に受けとめているところです。今年は何を行っていくかについての方針は総代会にて承認を得たと思いますが、現状をとりまく厳しい環境はこのまま続くという流れのなかで

1. 組合員に支持される輪を職員一同にて一つひとつ拡大したい
2. 組合員の声、「一声運動」を大切に、要望の実現に努める
3. 各店舗のあり方をもう一度見直し、大学へのお願いも含めて、真の福利厚生施設としての面をさらに強化していきたい
4. 生協自体が「赤字」で良いとは考えていないので現状の赤字を克服すべく、むだ、むら、むりの見直しを行い体質的に軽量化し、スピーディな行動がとれる対応を模索していきたい
5. 月間でのお願い、宣伝等についても「生協ニュース」として漸次拡大案内できるように改善する

現在のところは以上の方向で進めていきたいと考えていますが、具体化については定例の理事会を通じて行っています。利用される学生、教職員及び生協職員との協力なくして奈良教育大生協の前進はないと考えていますのでよろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

(専務理事 宮崎)

奈良工業高等専門学校生協

5月24日、第5回通常総会を開催しました。

総会では、組合員とともに進めるお店づくりを軸とした2001年度の活動方針を採択し、新役員を選出しました。そして新理事会で互選を行い、理事長、専務理事を選出しました。

- ・理事長 京兼 純(電気工学科教授)
- ・専務理事 鍵本 有理(一般教科講師)

新役員は15名の内、6名の学生・専攻科生が理事・監事を務めます。この若い役員たちや、6名の新入生が入った学生委員会など、学生たちが中心となり、今まで以上に高専生に根ざした生協づくりを進めていきますので、県連会員生協のみなさんのご協力のご指導をよろしくお願ひいたします。(店長 林)

ならコープ

「治道トマトの摘み取りとトマト料理の試食」に大学生も参加、生産者やならコープ組合員との交流すすむ!

ならコープこむらいふ主催の暮らしの講座が5月19日に開催し、35名の参加がありました。そのうち、奈良女子大や奈良県立大学から7名の参加がありました。

ならコープとの産直事業21年目を迎える治道トマトは、生野菜に飢える大学生にも好評でした。トマトの生産現場を生で見られ、生産者の声が聞けて大感激! (組合員活動課 小西)



県連日誌

- 4/10 日生協地区別代議員会議
- 19 第5回事務局会議
- 24 関西地連総会
- 5/7 県連監事会監査
- 20 つながり祭
- 24 奈良教育大学生協通常総代会
奈良高専生協通常総会
- 25 奈良女子大学生協通常総代会
奈良県立大学生協通常総会
- 30 日生協50周年記念シンポジウム
- 6/2 第12期県連通常総会
- 7 ならコープ通常総代会
- 9 食文化研究会総会
- 14 2001年度第1回事務局会議
- 28 大阪樟蔭女子大学生協通常総会
- 26~30 市民和行進県内行進

お知らせ

◎奈良県協同組合デーのつどい

とき 7月2日(月) 13:30~
 ところ 農協会館 大会議室
 内容 講演：NHK番組制作局社会情報
 番組部 チーフプロデューサー掛川治男氏

◎労済生協通常総代会

とき 7月30日(月) 13:30~
 ところ 春日野荘

◎第17回平和の集い

とき 7月20日(金) 14:00~16:00
 ところ 奈良商工会議所 5階大ホール
 内容 講演「被爆地・広島から世界へ
 核兵器廃絶に向けて」
 広島平和研究所所長 福井治弘氏
 問合せ先 奈良YMCA TEL 0742-45-5920

会長賞募集

会員生協の中で、環境・福祉・文化活動を活発に行っているサークルを、生協大会で表彰します。活動の内容を原稿用紙2枚程度にまとめて、県連事務局までお送りください。

生協大会：10月27日(土) 予定

*環境推進活動賞：1件 *福祉・文化推進活動賞：1件

*締め切り：9月8日(土) *副賞：5万円

詳しくは県連までお問い合わせください

編集後記

▽時を逆走してまだ春が残る信州へ旅に出かけ「山の掬十ヶ条」という記に出会った。一、竹の子は一メートル四方に必ず一本残す。一、たらの芽・ワラビ・コゴミは二番芽は取らない。一、ふき・うど・山ニンニクは根から取らない。一、魚は取っても十五センチ以下は川に戻す。一、花は見るもの、持ち帰らない。一、ゴミと思いは忘れず必ず持ち帰る。と読み進むうちに何ともいえない不思議な感動に包まれた私。ここにも自然との「共生」という人情が息づいている！ (俊)

▽最近電池で光る蛍が売り出されたテレビの番組で紹介していた。はかなげな光は懐かしさを感じた。植木屋さんが、最近みのむしを見なくなったと言っていた。そういえばあまがえるも前ほど見ない。あじさいの花の美しさばかりに見られているうちに、自然の流れが変わって行くのか？ (鈴)

▽多くの会員生協の総(代)会で役員改選が行われた。人が変われば組織は変わる。特にトップの姿勢が組織のあり方を決定づける。田中外相と外務省幹部との対立ではないが、トップと幹部との対立関係が続く組織は悲惨である。外と競争する前に内部で戦わなければならない。部下はトップの方針を具体化するために自分はどうあるべきかを考え、トップは常に部下の声を傾けてほしい。(俊)